

更迭を行つた。昭和二十年九月以來學界、事業界、殊に
 労働運動関係者中より多数の理事を選任して本會の運営
 に革新的要素の導入を圖つたが、結局昭和二十一年二月
 までに全理事の三分の二が改選された。會長水野鍊太郎
 氏は昭和二十年十二月戦争犯罪容疑者の指定を受けたが
 (大磯に休居中昭和二十二年七月釋放)、昭和二十一年
 一月九日會長の職を辞した。斯くて、同年二月五日理事
 會を招集し副會長松岡均平男議長の下に會長を互選し、
 添田敬一郎氏が會長に選任されたが、之れと同時に松岡
 副會長も理事を辞任した。之れが添田新會長は、安川第
 五郎氏(資本家側)及び松岡駒吉氏(労働者側)を副會
 長に委嘱した旨を語り、全員の同意を得た。今こゝに

昭和二十一年五月末日現在に於ける理事及び監事を列挙
 すれば次の如くである。

會長

添田 敬一郎 前衆議院議員 前住宅營團理事長

副會長

安川 第五郎 石炭廳長官 勞務法制審議委員會委

員

松岡 駒吉 衆議院議員 労働組合總同盟會長

理事

(労働運動関係者)

鮎澤 巖 元國際労働局東京支局長

松岡 駒吉 (本會副會長)